

議会運営委員会

視察研修報告

（期間） 2月2日～4日

（目的及び視察地）

○議会改革について

（東京都豊島区議会）

○議会資料のペーパーレス化について

（東京都立川市議会）

東京都豊島区議会では、平成23年7月より22項目の改革検討を開始。26年1月には、10項目の改革が実現し、あとの12項目も継続して取り組まれていた。実現した改革項目の中には特に、インターネット中継については①常任委員会・特別委員会について録画での配信を開始②本会議、予算・決算特別委員会はライブ中継を実施。また緊急時の議会機能について、大規模災害発生時には、正常な議会活動が困難となる場合を想定し、議会独自の災害対策本部を設置し、議会・議員の役割を規定したとのこと。

東京都立川市においては、本会議・委員会でのタブレット使用について協議、検討した。平成25年10月に導入を決定し、グループや個人での研修も行い、



▲立川市議会でもタブレット使用研修の様子

現在は併用しているが、ペーパーレス化へ早急に取り組みたいとの報告を受けた。地方議会でもタブレット

ト導入が広がると思われる。小城市議会が今後目指す改革への先進的な考えや取り組みを研修することができた。

広報編集特別委員会

視察研修報告

（期間） 1月27日～28日

（目的及び視察地）

○議会広報の編集・発行について

（広島県江田島市議会）

1日目は広島県江田島市議会にて視察研修を行った。当委員会とは以下の点が違っていた。

①1回目の編集会議を開会日に開き、日程・掲載内容・担当ページを決定。

②提出原稿は原則電子データで提出し、手書き原稿については、事務局が紙面割り付けがスムーズにやれるようにワードに打ちかえる。

③タブレット使用についての研修会を開き、27年度は予算化して各常任委員会と特別委員会で使ってみる。

④特集「市民の声、市政に思う」では、2回先までの発行を目的に民生委員や子育て世代に原稿を依頼する。など前向きな取り組みをさ



▲江田島市議会研修の様子

2日目は同県廿日市市議会にて研修を行った。東広島あきるの市議会広報誌を参考に、試行錯誤を繰り返して手に取ってもらえる議会だより「へとりニューアル」されていた。特に市民と議会の対談記事など、今までの単なる議会報告から脱皮した編集作業が行われていた。自分の足で取材し、直接市民と対話しながらの真摯な編集態度は、当委員会としても大いに学ばべき課題と感じた。